



深山たかし

発行元：深山たかし後援会
 上尾市大字上1774-7
 048(776)0575
 fukayama-sov@jcom.home.ne.jp
 ホームページは検索サイト
 "深山たかし"で閲覧できます。

議会レポート

東北地方太平洋沖地震 冷静な判断と行動を

地震の概要

東北地方太平洋沖地震は三月十一日午後二時四十六分に三陸沖（牡鹿半島の東南東）で発生しました。マグニチュード九・〇は関東大震災を上回る日本国内観測史上最大です。東北地方を中心として大きな被害を出し、地震の影響は広範囲に波及し、関東地方や北海道でも死傷者が出る事態となりました。また、地震による津波被害は想像を遙かに超えています。沿岸の多くの自治体が壊滅状態になり、避難所も不足する中で、被災された方々



が厳しい生活を送っています。さらに、福島原子力発電所も被災して、原子炉冷却用ポンプが流される等の事故が発生。放射能拡散を防ぐため、懸命の作業が続けられています。（報道写真より）

お願い

- ①このたびの地震により東京電力株式会社の計画停電が実施されています。水が出なくなったり、濁り水が出る場合があります。節水・節電にご協力ください。
- ②移動手段は、可能であれば、自転車・徒歩等に変更し、石油燃料の節約をお願いします。
- ③日用品、燃料などの買い占めは、お控え下さい。
- ④停電で信号機の消えた交差点に注意して下さい。
- ⑤停電時の火災が多発しています。不要な家電のコンセントを抜く等の対策をお願いします。
- ⑥重要なお知らせは、上尾市のホームページに掲載しています。内容は随時更新していきますので、定期的にご確認下さい。

- ⑦重要な情報は頻繁に報道されていますが、不確かな憶測や不安を助長させるような情報源もあります。情報の真偽を確かめて、冷静に行動をして下さい。
 - ⑧義援金の募集は、五月三十一日（火）まで募金箱を設置する形で、市役所一階ロビー、各支所、各出張所、各公民館、コミュニティセンター、イコス上尾、市民活動支援センター、アップीलランド、こどもの城、総合福祉センター、保健センタープラザ（商工課）、西貝塚環境センター、上平公園、自然学習館、図書館、市民体育館水道部庁舎で行っています。
- 義援金は、社会福祉協議会を取りまとめ、日本赤十字社埼玉県支部を通じて現地対策本部に送金し、被災者支援に充てられます。
- 東北地方太平洋沖地震は、人ごとではありません。被災地復旧に、皆様の力を是非お貸し下さい。

行財政問題について

公共施設維持管理

上尾市は、昭和四〇年代から五〇年代前半にかけて、小・中学校を始めとする公共施設の建設が相次いだ関係で、今では、老朽化した建物の割合が高くなりました。

築後三〇年以上の公共施設の割合と棟数（延べ床面積二〇〇㎡以上）は、全体の六八％、一四四棟あります。また、十年後にはこの割合が八三％、一七七棟になります。

今後十年間で必要となる経費を推計すると約八十億円になるそうです。

私は、既存公共建築物の情報一元化し、計画的に補修・修繕等の維持管理を行えば、少ない費用で施設の長寿命化が出来ると思っています。

本庁舎の土日開庁

平成十六年一月より住民票の写し、印鑑登録証明書、課税証明書、母子健康手帳などの交付、市税の納付や市税に関する相談、年金や国民健康保険に関する受付、保育所入所、ひとり親世帯や障害のある方や高齢者の方からの申請や相談などの受付。

その後、出納室における公金徴収業務を加えています。

これらの事業に年間約五、三〇〇万円もの経費が掛かっています。

喜ばれている方もいらっしゃるのですが、住民票の写しや、印鑑証明は、一般の人が一生の内でも何通取得するのかわからなかった時に、土日の両日開庁しなくても対応できる気がしています。

財政問題について

今回、交付税とは、交付税と臨時財政対策債の関係、国県支出金の種類、国県支出金の中で補助金の性格等に関し質問しました。

社会情勢も厳しくなる中で、自治体が住民福祉を堅持し、施策の連続性を維持する為には、財源の裏付けが重要になります。

私は、事業を遂行する上で利用可能な、国県からの補助金を積極的に活用するように強く要望しました。

平成二十三年度当初予算の特徴として、子ども医療費の無料化、富士見小学校校舎改築、(仮)東保健センターの整備など、引き続き重要な施策を推進しつつ、新たに子宮頸がんワクチンの無料化や、改築校を除く全ての小学校の普通教室へのエアコン整備、小中学校へのA.L.T.を全校配置など、健康や子育て、教育分野へ重点的な予算配分を進めました。

犬の糞尿被害

ご近所の方から「毎日朝夕にご自宅の前に犬の糞を放置されて困っている」との切実な相談が寄せられました。

現地を調べたところ、糞の持ち帰り看板があるにもかかわらず、数カ所に放置されていました。

市では、狂犬病予防接種の時や、各種イベントの折り、獣医師会の協力を得て「飼い主のモラル向上」へ啓発活動を行っています。

皆さんが気持ちよく生活出来るようにするためには、ちよつとした心がけと思いやりが必要で、改善もできない問題だと思えます。



糞の持ち帰り啓発看板

編集後記

東北地方太平洋沖地震に関係して、多くの方からご意見が寄せられ、私たちに応援出来ることは何かを考えさせられました。

被災地では、身体を休める場所がありません。

生活再建には、落ち着いて住める場所が必要です。

市内には、民間のアパートや県営住宅、UR賃貸住宅等に空きがあります。

アパートを所有されている方や県・公団と速やかに交渉し、入居の受け入れをしてはどうかと考えました。

三月十八日に島村市長に被災者の受け入れをするように直接要請をしたところ、三月二十日には調整も進み、「上尾市から紹介された」と入居希望の方が、市に登録されていた民間所有のアパートにこられたそうです。

「十日ぶりにお風呂に入れた」と大変感謝されたと連絡も頂きました。